

# 広島大学

令和4年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜Ⅰ型

## 解答例又は出題の意図等

教育学部 第三類(言語文化教育系)

日本語教育系コース

科目名:小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和4年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（I型）  
教育学部  
第三類（言語文化教育系） 日本語教育系コース  
小論文問題 解答例又は出題の意図等

---

第一問

日本語に対する興味関心、広い視野から日本語を考えられるかを問う問題である。

問1 カタカナ語の利点の例：新しさ・高級さ・カッコよさなどの印象。翻訳の負担と責任を回避できる。

既存の類義語にはない意味やニュアンスを盛り込める。

問2 (1) ① 現在のカタカナ語氾濫と明治期の漢語氾濫。

② 理解を助ける辞典が多く出版されている。

(2) 明治期の新漢語とカタカナ語が異なる部分の例：新漢語は近代化の推進という切実な要求の下で作られ、置き換え可能な語が日本語に存在しない。新漢語では漢字・既存の漢語との連続性が考慮されている。

第二問

多面的に考える思考力、自分の考えを適切に表現できる力を問う問題である。

経済活動だけでなく、勉強や生活などに視野を広げて速さと丁寧さの関係を論じてもよい。全ての課題には、時間的制限と守るべき質がある。両者はバランスを考えるべき関係にあり、一方だけが優先されることは少ない。しかし、速さの優先によって失われた事物や習慣も少なくない。こういった現象を広く見まわして、適切な具体例をあげて論じられるかを見たい。

第三問

言語という我々の身近にあるものに対して、その厳密な定義を求めることで、言語に対する理解や考えを深め、どの程度自律的に考えることができるかを問うことが出題意図である。その際、英文の正しい読解を通して、論点を整理できるかどうか、他の言語との比較によって、日本語について内省できるかどうかを問う。日本語においても「ことば」の表す意味はさまざまであり、その範囲は広い。自然言語としての日本語を科学的に扱う基礎として、自らの観察と分析を通して、言語のあり方を論理的に表現できるかどうかを見たい。